

Catch ●●● キャッチボール ●●● Ball

2

2025

February

Vol.940

～ INDEX ～ 【特集】令和6年産農産物を振り返る … 1～6

● しめ飾り寄贈 … 7 ● 青年部通常総会ほか … 8 ● 女性部タオル寄贈ほか … 9 ● フォトだより … 10 ● 理事会だより … 11



新成人の正職員をご紹介：記念品を受け取る村上琴夢職員（右）、伊藤正人代表理事組合長（左）



水稲

JAびばい管内の基幹作物である水稲をはじめ小麦・大豆・その他園芸作物の生育状況などを振り返ります。
今年度の営農の参考にお役立てください。

『気象経過と生育状況』

1 融雪と耕起作業

3月はやや低温に経過したが、融雪期は4月2日(±0日)で平年並だった(空知農業改良普及センター本所調べ、以下の生育期節も同様)。4月は少雨に経過し、気温は高めに推移したため、耕起盛期は4月24日(早4日)で早く進んだ。

2 は種作業

は種作業は平年並に行われ、は種期は4月21日(±0日)となった。

3 育苗

出芽期は4月26日(早1日)となり、は種から出芽までの日数は5日間で平年並だった。育苗期間は、概ね気温が高く多照に経過し、苗素質は平年に比べ乾物重が重く充実した苗だった。

4 移植作業

移植期は5月21日(±0日)だった。その後も作業は順調に進み、移植終は5月26日(±0日)となった。

表1 「ななつぼし」の苗素質(中・成苗平均)

	R6年	平年	差・比率
草丈 (cm)	13.9	13.9	0
葉数 (枚)	3.7	3.6	0.1
第一鞘高 (cm)	2.6	2.7	-0.1
茎数 (本)	1.5	1.4	0.1
乾物重 (g/100本)	4.0	3.1	129%
充実度 (乾物重/草丈)	0.28	0.22	127%

5 初期生育

活着期は5月26日(±0日)、分げつ始は6月5日(±0日)で平年並だった。5月5半旬〜6月1半旬まで気温がやや低く経過したため、分げつの発生は緩慢であった。6月2半旬以降、高温に経過したため、分げつは進み、茎数は平年に比べ並らや多く推移した。

6 前歴期間・冷害危険期

幼穂形成期は6月29日(早1日)となった。
前歴期間〜冷害危険期も高温に推移し、稔実歩合は94.6%(成苗、中苗の平均値)と平年並であった。

表2 「ななつぼし」の生育経過

調査月日		草丈 (cm)	葉数 (枚)	茎数 (本/m ²)	遅速 日数
6月1日	R6年	19.3	4.6	100	±0日
	平年	18.5	4.6	97	
6月15日	R6年	24.7	6.4	181	遅2日
	平年	28.4	6.7	241	
7月1日	R6年	45.9	9.4	609	早1日
	平年	41.7	8.8	557	
7月15日	R6年	65.4	10.7	642	早2日
	平年	64.4	10.4	645	

7 出穂

7月中旬以降も引き続き高温に経過したため、生育は進み、出穂期は7月24日(早3日)であった。出穂開始〜出穂揃までの日数は7日間(平年8日間)だった。

表3 「ななつぼし」の生育期節

	活着期	分げつ始	幼穂形成期	止葉期
R6年	5月26日	6月5日	6月29日	7月14日
平年	5月26日	6月5日	6月30日	7月16日
遅速	±0日	±0日	早1日	早2日
	出穂始	出穂期	出穂揃	成熟期
R6年	7月21日	7月24日	7月28日	9月3日
平年	7月23日	7月27日	7月31日	9月12日
遅速	早2日	早3日	早3日	早9日

9 収量構成要素

中苗は、穂数、1穂粒数が平年に比べ多く、総粒数は平年比112%であった。成苗は穂数、1穂粒数が平年に比べやや少なく、総粒数は平年比88%であった。



表4 「ななつぼし」の収量構成要素

育苗様式	m ² 穂数 (本/m ²)		1穂粒数 (粒/穂)		m ² 総粒数 (粒/m ²)		稔実歩合 (%)	
	R6年	平年比	R6年	平年比	R6年	平年比	R6年	平年比
中苗	617	106%	59.3	107%	36,066	112%	95.3	100%
成苗	553	93%	58.3	95%	32,163	88%	94.0	101%

8 登熟期間・成熟期・収穫作業
登熟期間も気温は高く推移したため、生育はさらに進んだ。登熟期間(出穂期〜成熟期の日数)は、平年に比べ6日間短く(41日間)、成熟期は9月3日(早9日)となった。
9月上旬は日照時間が多く降雨日が少なかったため、収穫作業は順調に進んだ。収穫期は9月14日(早7日)でかなり早く、収穫終は9月25日(早4日)だった。

令和6年産農産物を振り返る

10 収量

北海道農政事務所による南空知の収穫量（12月10日公表）は、10a当たり578kg、作況指数103と公表された。

11 品質

登熟期間は平年に比べ高温で経過したが、白未熟粒、死米の発生は平年並だった。また、タンパク質含有率はやや高く、作況ほ「ななつぼし」の平均値は8.0%（平年7.5%）だった。

12 病害虫

いもち病は、目立った発生はなかった。カメムシは、7、8月の高温の影響により発生は継続したが、特に大きな被害にならなかった。

紋枯病（疑似紋枯症含む）は発生が散見され、病徴が進展した水田では倒伏が助長された。

令和7年度に向けて

1 早期登熟確保のため初期生育促進
春は融雪促進を進め、停滞水を速やかにほ場外へ排出する。乾田化を図り地温を高め、地力窒素の早期発現と初期生育促進、施肥効率向上に努める。

育苗期間の高温により、浸種時の発芽、苗の高温障害、徒長苗、老化苗の移植による生育不良が見られるため、は種作業の分散、温度管理を徹底し、健苗の適期移植に努める。

2 土壌診断に基づく施肥対応

無駄のない施肥を行うために土壌診断を実施する。リン酸やカリが過剰であれば、リン酸、カリ含有率の低い銘柄への変更を検討する。

3 本田水管理①

活着後は浅水管理とし、分げつ促進に努める。ただし、極端な低温や強風予報の場合は、前日から深水にする。フキ（土壌還元）がひどい場合は中干しや水の入れ替えを実施する。

4 本田水管理②

冷害危険期終了後は開花直前までに中干しを実施する。登熟初期に高温が続く場合は、間断かんがいにより地温と稲周辺温度の低下を図る。

落水は、出穂期後25日目頃以降に行うのが原則であるが、排水性を考慮する（収穫の10日前頃までは土壌表面に大きな亀裂が入らないよう心がける）。落水後は、入水や排水を容易にするため、早期に溝切りを行う。

5 品質確保

登熟期間の高温により白未熟粒、死米や胴割粒の発生が懸念されることから、窒素施肥量の遵守、健苗育成、栽植密度の適正化、積極的なケイ酸資材の施用など基本栽培技術の励行で「穂揃いの良い稲」を目指し、稲体の健全化を図る。

秋まき小麦(きたほなみ)

『生育状況』

1 は種し出芽（R5年秋期）

令和6年産のは種始は、平年より9日遅い9月16日だった。は種期は9日遅い9月26日、は種終は10月3日（平年より13日遅れ）だった。出芽期は10月3日で平年より10日遅れた。出芽後は平年を上回る気温が続いたことから、越冬前の㎡当たり莖数は886本となり、健全な越冬に必要な最低限の生育量は確保できた。

根雪始は平年より5日早い11月24日、積雪期間は130日と平年より5日長くなった。美唄アメダスでは最深積雪が130cmに達し、平年より35cm上回った。

2 起生期し出穂期

融雪期は平年と同等の4月2日となり、一部のほ場で雪腐病の発生や冬損がみられたが、全体的な発生は少なかった。

起生期以降は気温が高く経過したため、幼穂形成期は平年より3日早かった。5月以降は高温の影響から止葉期と出穂期は平年より早く経過した。

3 成熟期、収穫作業

出穂以降も高温で経過し成熟期は平年より6日早まったが、登熟日数（出穂期し成熟期）は42日とほぼ平年並であった。

成熟期の穂数は778本/㎡（平年比87%）に留まったが、稈長は76cm、穂長は9.6cmと平年並だった。

表1 「きたほなみ」の生育状況（越冬前）

	R 5	平 年	遅 速
は種始	9月16日	9月7日	遅9日
は種期	9月26日	9月17日	遅9日
は種終	10月10日	9月27日	遅13日
出芽期	10月3日	9月23日	遅10日
根雪始	11月24日	11月29日	早5日
越冬前葉数	5.4葉	6.3葉	-0.9葉
越冬前莖数(本/㎡)	886本	1,444本	-558本

表2 「きたほなみ」の生育状況（越冬後）

	R 6	平 年	遅 速
融雪期	4月2日	4月2日	±0日
起生期	4月7日	4月4日	遅3日
幼穂形成期	4月26日	4月29日	早3日
止葉期	5月18日	5月24日	早6日
出穂期	5月28日	6月2日	早5日
成熟期	7月9日	7月15日	早6日
収穫始	7月16日	7月19日	早3日
収穫期	7月17日	7月22日	早5日
収穫終	7月20日	7月27日	早7日
登熟日数 (出穂期～成熟期)	42日	43日	遅1日



収穫作業は順調に進んだ。登熟状況は平年並となり、日照時間も平年より長かったことから粒張りの確保につながった。

4 病害

倒伏ほ場で眼紋病、一部ほ場で赤かび病、赤さび病の発生がみられた。

令和7年度に向けて

令和7年産のは種作業は水稻収穫作業との競合や9月中旬の降雨の影響により大幅に遅れ、出芽期も10月1日(遅9日)となった。越冬前の草丈は18.8cm(←2.0cm)、葉数は5.5葉(←0.9葉)、m当たり茎数は969本と平年より少ない傾向だった。

1 施肥管理

近年、は種時期が早い、またはは種量が多く起生期の生育が旺盛なほ場が一部でみられる。そのようなほ場の場合は追肥時期を遅らせるか、減肥するなど、生育状況を確認しながら適切な施肥管理に努める。

2 眼紋病対策

連作や排水不良、起生期以降の茎数が多いほ場などで眼紋病の発生による倒伏がみられる。発生による倒伏を抑えるための対策は次のとおり。

①融雪促進に努めるとともに、額縁明きよや溝きりなど、透排水性改善に努める。

②生育状況に応じた適正な施肥管理
③幼穂形成期頃の薬剤散布
④赤さび病・赤かび病対策

赤さび病は幼穂形成期頃から発生がみられるので、幼穂形成期2週間後頃の適期を逃さずに防除し、出穂期以降は発生状況に応じた臨機防除を実施する。

赤かび病の防除は開花始以降で、高温年はかび毒の発生が懸念されるので薬剤の選定に注意する。

春まき小麦(初冬まき栽培)

『生育状況』

1 は種(R5年初冬)

令和6年産のは種始は平年並の11月2日、は種終は平年より5日早い11月6日だった。

2 越冬後〜成熟期

越冬後の生育は順調に推移し、高温傾向でさらに登熟が進んだ。成熟期は平年より3日早く、登熟日数は(出穂期〜成熟期)43日と短縮した。

茎数(穂数)は越冬後はやや少なかったものの、幼穂形成期〜乳熟期は多めに推移し、成熟期の穂数は968本/m²(平年比119%)となった。稈長は78cm(平年比+4.3cm)、穂長は8.0cm(平年差+0.2cm)だった。

収穫作業は平年より6〜8日早く、順調に進んだ。うどんこ病や赤かび病が多発したほ場では低収、歩留まりの低下などが見られた。

表1 「春よ恋」の生育状況(初冬まき栽培)

	R 6	平年	遅速
は種終(R5)	11月6日	11月11日	早5日
幼穂形成期	5月10日	5月11日	早1日
止葉期	5月28日	5月29日	早1日
出穂期	6月6日	6月7日	早1日
成熟期	7月19日	7月22日	早3日
収穫期	7月25日	8月1日	早7日
収穫終	7月27日	8月4日	早8日
登熟日数 (出穂期〜成熟期)	43日	45日	遅2日

令和7年度に向けて

1 融雪促進

積雪期間が長いと越冬率が低下するため、融雪材散布による融雪促進に努める。

散布時期：散布適期は雪解けが進む日平均気温マイナス3℃以上の時期を目安とする(3月10日頃)

散布資材：アッシュ類、融雪炭カル等40〜60kg/10a

※散布後20cm以上の新雪が積もった場合は再度散布する。

※ばらまき栽培では凍上書を回避するため、極端に早い融雪を避ける。融雪後、ほ場に入れるようになったら直ちに窒素肥料を施用する。

排水性の悪いほ場では、額縁明きよや溝きりなど、透排水性改善に努める。

うどんこ病・赤かび病対策

うどんこ病や赤さび病は幼穂形成期頃から発生がみられるので、ほ場を観察し発生を確認したら出穂期以降までのローテーション防除を実施する。

赤かび病の防除は開花始以降で、高温年はかび毒の発生が懸念されるので薬剤の選定に注意する。

大豆(ユキホマレ)

『生育経過』

1 は種〜出芽

は種作業は平年より3日遅く始まり、は種終は2日遅かった。一部ほ場では他作物との作業競合のため、は種作業は6月上旬となった。

は種後の降雨による適度な土壌水分により出芽は概ね揃った。

2 開花期

好天に恵まれ生育は順調に進み、開花期は平年より1日早まった。

3 成熟期、収穫作業

登熟期間中、7月下旬と8月下旬にまとまった降雨があったが登熟状況は概ね平年並となった。

成熟期は平年より3日早い9月15日に迎えたが、9月上旬以降は最低気温が平年並まで低下したことから、令和5年産で発生した葉落ちや茎水分低下の遅れは目立たなかった。



令和6年産農産物を振り返る

かんがいによるかん水を検討する。地下かんがいの効果を高めるためには、ほ場が乾燥した状態でのサブソ

2 乾燥害対策

高温・干ばつが続く場合は、地下かんがいの効果を確認する。地下かんがいの効果を確認するためには、ほ場が乾燥した状態でのサブソ

1 湿害対策

集中的な降雨の際にも速やかに排水を排除できるように、暗きよの点検、額縁明きよ、表面水の排水のため溝切りなどを行う。

令和7年度に向けて

令和7年も基本技術の励行と適期管理作業に努める。

4 病害虫

生育初期のアブラムシ吸汁に起因するわい化病がみられ、登熟が進まない「青立ち株」が発生した。収穫物にはカメムシ類の吸汁痕が目立つものが一部で見られた。

表1 「ユキホマレ」の作業・生育状況

	R6	平年	遅速
は種始	5月19日	5月16日	遅3日
は種期	5月27日	5月25日	遅2日
は種終	6月3日	6月1日	遅2日
出芽期	6月8日	6月7日	遅1日
開花期	7月14日	7月15日	早1日
成熟期	9月15日	9月18日	早3日
収穫期	10月1日	10月10日	早9日

たまねぎ(オホツク222)

『令和6年の生育経過と農作業状況』

(空知農業改良普及センター作況定点)

1 は種く移植

は種作業は順調に進み、は種期は4日早く、出芽期も4日早かった。3月は低温傾向であったが、日照が確保されたため、苗は順調に生育した。融雪は平年並で、4月は好天に恵まれたため、ほ場準備は順調に進んだ。移植始は5日、移植期は6日早かった。4月5日半旬の降雨により移植作業は一時中断したが、移植終は2日早かった。

2 茎葉伸長期く球肥大期く倒伏期く枯葉期

活着は土壌水分、地温が確保され良好であった。5月上・中旬は定期的な降雨により、生育は順調に進んだ。5月下旬く6月上旬は、低温、強風に伴い生育は緩慢であった。6月中旬以降は高温傾向で推移し、生育は回復し良好であった。球肥大期は1日早く、球肥大は順調に進

イラによる心土破砕が有効である。適切なは種作業と出芽揃いの良いほ場づくりを進めることで開花の均一化を図り、マメシンクイガ等の葉実害虫の適期防除に努める。

収穫の際は茎水分を確認するとともに、適期に収穫作業が始められるよう排水性改善に努める。

収穫時期に降雨日が多かったが、収穫始は6日早く、収穫期は4日早かった。8月下旬の多雨により作業は停滞し、収穫終は平年並となった。

3 収穫

収穫時期に降雨日が多かったが、収穫始は6日早く、収穫期は4日早かった。8月下旬の多雨により作業は停滞し、収穫終は平年並となった。

4 収量・品質

しかし大規格が中心となり、収量は平年より高かった。

日焼け球の発生は平年並であった。

製品率は高い傾向であったが、降雨により収穫が遅れたほ場では裂皮や変形、肌腐れ症状の発生が見られた。

したが、平年に比べ葉面積は維持された。倒伏期は1日早く、枯葉期は2日早かった。

3 収穫

収穫時期に降雨日が多かったが、収穫始は6日早く、収穫期は4日早かった。8月下旬の多雨により作業は停滞し、収穫終は平年並となった。

4 収量・品質

しかし大規格が中心となり、収量は平年より高かった。

日焼け球の発生は平年並であった。

製品率は高い傾向であったが、降雨により収穫が遅れたほ場では裂皮や変形、肌腐れ症状の発生が見られた。

したが、平年に比べ葉面積は維持された。倒伏期は1日早く、枯葉期は2日早かった。

3 収穫

収穫時期に降雨日が多かったが、収穫始は6日早く、収穫期は4日早かった。8月下旬の多雨により作業は停滞し、収穫終は平年並となった。

4 収量・品質

しかし大規格が中心となり、収量は平年より高かった。

日焼け球の発生は平年並であった。

製品率は高い傾向であったが、降雨により収穫が遅れたほ場では裂皮や変形、肌腐れ症状の発生が見られた。

したが、平年に比べ葉面積は維持された。倒伏期は1日早く、枯葉期は2日早かった。

3 収穫

収穫時期に降雨日が多かったが、収穫始は6日早く、収穫期は4日早かった。8月下旬の多雨により作業は停滞し、収穫終は平年並となった。

4 収量・品質

しかし大規格が中心となり、収量は平年より高かった。

日焼け球の発生は平年並であった。

製品率は高い傾向であったが、降雨により収穫が遅れたほ場では裂皮や変形、肌腐れ症状の発生が見られた。

したが、平年に比べ葉面積は維持された。倒伏期は1日早く、枯葉期は2日早かった。

3 収穫

収穫時期に降雨日が多かったが、収穫始は6日早く、収穫期は4日早かった。8月下旬の多雨により作業は停滞し、収穫終は平年並となった。

4 収量・品質

しかし大規格が中心となり、収量は平年より高かった。

日焼け球の発生は平年並であった。

製品率は高い傾向であったが、降雨により収穫が遅れたほ場では裂皮や変形、肌腐れ症状の発生が見られた。

したが、平年に比べ葉面積は維持された。倒伏期は1日早く、枯葉期は2日早かった。

図1 たまねぎの生育期の気象経過 (美唄アメダス)

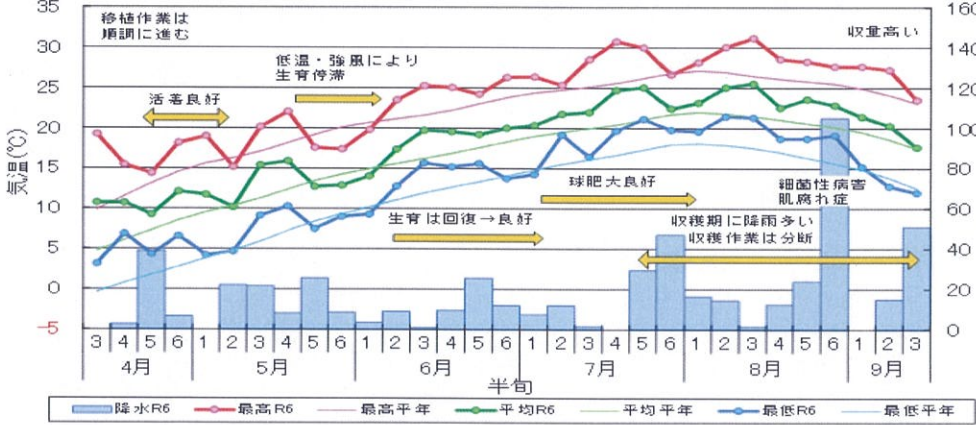


表1 たまねぎの生育概要 (空知農業改良普及センター調査)

		生育概況							
		5/15	6/1	6/15	7/1	7/15	8/1	8/15	9/1
草丈 (cm)	R6	18.8	33.4	60.6	87.1	87.3	67.8	-	-
	平年	14.7	27.4	54.7	77.3	79.9	60.9	-	-
葉数 (枚)	R6	2.8	5.2	7.6	9.5	9.4	7.2	-	-
	平年	2.1	4.8	7.0	8.9	8.4	6.2	-	-
葉鞘茎 (mm)	R6	4.7	8.7	14.6	19.8	20.4	16.3	-	-
	平年	3.8	7.5	13.4	19.2	19.1	15.1	-	-
球径 (cm)	R6	-	-	-	3.9	6.1	7.8	8.0	8.0
	平年	-	-	-	3.8	6.0	7.3	7.6	7.7
遅速日数		+4	+4	+3	+1	+1	+1	+2	+2



表2 たまねぎの生育期節 (空知農業改良普及センター調査)

	生育期節					
	出芽期	球肥大始	球肥大期	倒伏始	倒伏期	枯葉期
R6	3/3	6/25	6/28	7/15	7/17	8/7
平年	3/7	6/25	6/29	7/16	7/18	8/9
遅速日数	+4	±0	+1	+1	+1	+2



全体運: 良好運。努力は実り、うれしい知らせも入りそう。
 頼まれ事が多く大変ではありますが、やりがいを感じられます
 健康運: 風邪や貧血に気を付けて。ビタミン補給を幸運の食べ物: エノキタケ

全体運: 作業の効率化に成功し仕事がスピードアップ。
 空いた時間は大切な人のために使って。捜し物は見つかる予感
 健康運: 血行を促進。肩凝りは早めに解消して幸運の食べ物: セリ

令和6年産農産物を振り返る

表3 たまねぎの農作業期（空知農業改良普及センター調査）

	農作業期								
	は種始	は種期	は種終	移植始	移植期	移植終	収穫始	収穫期	収穫終
R6	2/10	2/17	2/24	4/13	4/17	4/29	8/5	8/23	9/8
平年	2/14	2/21	2/26	4/18	4/23	5/1	8/11	8/27	9/8
遅速日数	+4	+4	+2	+5	+6	+2	+6	+4	±0

表4 たまねぎの収量調査（空知農業改良普及センター調査）

	収量 (kg/10a)		球割合 (%)							一球重 (g)
	総収量	規格内	2L	L大	L	M	S	規格内計	規格外	
R6	7,079	6,899	10.8	40.9	38.9	6.5	0.1	97.1	2.9	238
平年	6,591	6,314	7.1	34.2	37.5	12.2	2.5	93.6	6.4	217
平年差	488	585	3.7	6.7	1.3	-5.8	-2.4	3.5	-3.5	21

『病害虫』
ネギアザミウマおよびネギハモグリバエの初発は平年並で、適期防除により発生量は平年並からやや少なくな推移し、被害は少なかった。
6月下旬からの降雨と曇天により、一部のほ場で白斑葉枯病、ベト病の発生がみられたが、防除により発生量は少なかった。
7月下旬以降の降雨や高温多湿の影響を受け、軟腐病やりん片腐敗病による細菌性腐敗が見られた。また、8月下旬の多雨により、肌腐れ症状

の発生が見られた。

令和7年度に向けて

春先、育苗ハウス内に融雪水が浸透しないよう、溝切りなどを行う。たまねぎの安定生産には、「良い苗（適期苗）」を「良いほ場条件」で移植することが大切。ほ場の融雪を促進し、適期に移植できるよう準備する。

近年の極端な気象変動の影響を緩和するためには、ほ場の透排水性改善、土づくりが重要（後述の『園芸全般』の項を参照）。また、可能な場合は、小麦・大豆・てん菜など畑作物との輪作を進め、根域拡大、紅色根腐病による根傷みの軽減を目指す。

アスパラガス

『生育経過』

1 ハウス作型

3月下旬から春芽の収穫が始まったが、3月は低温のため萌芽の揃いや若茎の伸長が悪かった。4月から気温の上昇に伴い、萌芽は順調であったが、前年秋の株養成が不良であったため、若茎は細く、萌芽数が少ないため、収量は少なかった。

立茎中は、5月下旬～6月上旬を除き、気温は高く、日照に恵まれたため、立茎枝の生育は良好であったが、萌芽が鈍いため、ほ場全体での完成は遅かった。
夏芽は、6月中旬から萌芽が始ま

った。7月下旬から収量は増加し、8月の形質や収量は良好であった。9月上旬の最低気温の低下により、曲がりが発生し、中旬から萌芽は緩やかに停止した。収量は、前年よりも少なかった。

2 露地作型

3月下旬からの気温上昇と降雨により、萌芽が早まり、4月下旬から春芽の収穫が始まった。ハウス作型と同様に、前年秋の株養成が不良に加え、前年夏秋季に茎枯病や疫病が多発したため、若茎は細く、萌芽数が少ないため、収量は少なかった。

立茎栽培での立茎は、萌芽が鈍いため、ほ場全体での完成は遅かった。夏芽は7月中旬から萌芽が始まったが、7月上中旬の高温と少雨により、萌芽数は少なく、細かった。7月下旬の降雨により、萌芽は回復し、9月上旬まで形質や収量は良好であった。9月上旬の最低気温の低下により、萌芽は鈍くなり、中旬には停止した。収量は、前年よりも少なかった。

慣行栽培での春芽収穫後の生育は、二次萌芽が始まった7月下旬～8月上旬の降雨と、8月下旬の降雨と高温により、平年よりも茎数は多かったが、前年よりも少なかった。

3 病害虫の発生状況

斑点病の発生は、少なかった。
茎枯病は、7月中旬から病斑が見られ、発生は多かった。
疫病は、8月中旬以降、発生が見ら

れ、9月下旬には著しく落葉したほ場があった。

ネギアザミウマやカメムシ類は、例年通り7月下旬～8月中旬にかけて発生が多かった。ヨトウムシ類は8月下旬から、発生が多かった。

令和6年秋季生育調査結果（JAびばい管内9ほ場調査）

栽培	草丈 (cm)	有効茎		斑点病 発病指数
		茎数(本/m)	茎径(cm)	
ハウス立茎	189.1	11	1.23	1.4
露地立茎	165.0	17	1.10	0.8
露地慣行	169.7	30	0.94	0.9

※草丈は、トップピング実施ほ場合む
※有効茎は、茎径0.5cm以上の茎葉
※斑点病発病指数（0～4の5段階評価）
0：発病なし
2：病斑が認められ、一部落葉、黄化
4：株の1/2以上が黄化、落葉

令和7年度に向けて

1 茎枯病の防除

令和6年の露地作型での発生は、最初に立茎した茎葉に加え、二次萌芽した若茎、成茎のりん片付近や新たに発生した下枝に罹病し、蔓延した。

①春芽収穫打ち切り後から立茎が完

令和6年産農産物を振り返る

成するまでの降雨。

②7月下旬～8月上旬と8月下旬の降雨(新たな萌芽が始まった頃)。

感染する機会が長期間あり、多発した。

発生ほ場は、次の対策を行う。

①茎葉残渣物は刈り取り、ほ場外へ搬出する(すき込まない)。

②防除は雨前とし、立茎直後から開始する。特に、立茎開始から30日間は7日ごとに行い、初期感染を防ぐ。

③なるべく雨の降らない時期に立茎する。

④発病が見られたら、罹病茎葉は抜き取り、ほ場外へ搬出する。

2 夏秋季の管理

ハウス作型の夏芽は、7月下旬～8月上旬に収穫のピークを迎えるため、特に7月中旬～8月中旬は、十分にかん水を行う。また、夏季の高温に、ほ場の乾燥が重なるため萌芽が止まり、回復に時間がかかるため、かん水量を多くする、もしくは間隔を短く回数を多く行う。

9月以降に萌芽が多い場合は、夏芽として収穫し、養分消耗を抑える。

ハスカップ

『令和6年の生育経過』

積雪は多かったが、3月下旬からの気温上昇と降雨により、融雪が一気に進み、枝折れは少なかった。

発芽期は、4月12日に迎えた。4

月は気温が高く推移したため、平年より5日早い5月1日から開花が始まり、6月6日には着色が見られた。

収穫は6月17日から始まった。前年夏秋季は高温であったため、新しい枝の発生や伸長が悪く、晩秋に開花など樹の充実が不足したことに加え、開花時期の強風により落花し、着果数が少なく、小粒なため、収量は少なかった。

収穫終了後の生育は、新しい枝の発生や伸長は良好であった。

病害虫は、灰色かび病の発生は少なかった。アブラムシは、着果が始まる頃から発生はあったが少なかった。カイガラムシの発生はあるが少なかった。

1 防風網の設置

ハスカップは結実率が低く、個体差も大きい。また、開花中は比較的气温が低いいため、訪花昆虫の活動が鈍い。防風網の設置により、気温を高め結実率の向上と、強風による落花(果を防ぎ、収量の安定を図る)。

2 書虫の防除

【カイガラムシ】
枝や樹皮の裂け目に約3～4ミリの褐色で貝殻状のものが付着、収穫中に葉や果実がベタベタしている、7月以降から葉裏に白い点々が見られる、これらの被害がある場合は、落

令和7年度に向けて

【アブラムシ】
落花頃から果実の着色期を中心に、防除を行う。

【ナガチャコガネムシ】
6月下旬頃から成虫となって羽化する。薄暗くなつてから、オスのみが地面すれすれを飛び、メスを見つけて交尾し、すぐに土中へ潜る。本虫に使用できる農薬がないため、成虫の発生時期に捕殺して、発生密度をできる限り下げる。

3 せん定
春先の融雪直後(発芽前)や秋季(落葉後)に行う。せん定は、樹ごとの結果枝の本数を確認しながら、地面に垂れ込んだ枝や込み合っている枝、株元から出る細い枝、書虫が寄生した枝などを除去し、作業性の良い骨格づくりを行う。

【文責】アスパラ・ハスカップ・農産園芸課
その他：空知農業改良普及センター

近年、極端な天候が多くなり、作物の生育や病害虫の発生に影響を与えている。気象に左右されない健全な

葉後や発芽前に機械油乳剤95を散布する。

作物生産には、ほ場環境の整備、土づくりが必須となる。

園芸全般

令和7年度に向けて

各作物の詳しい内容については、担当部署までお尋ねください。

《水稲・小麦》
米 麦 課 TEL 63-0526
《大豆・玉ねぎ・アスパラ・ハスカップ》
農産園芸課 TEL 63-0527

①透水性を改善するため、心土破砕等による耕盤層破壊、明きよ・暗きよの設置、ほ場均平(表面排水の促進)など可能な限りできることを実施する。

②堆肥の施用、緑肥作物のすき込みなど有機物の投入により、土壌物理性の改善、地力の向上に努める。

ハウス野菜・花きについては、夏季の高温対策が今まで以上に必要となる。遮光・遮熱資材の活用、換気改善等により、昇温抑制に努める。

薬剤防除に当たっては、使用時期や使用回数など適正使用基準を遵守し、ドリフトなどにより他の作物に飛散しないよう注意する。特に、防除機は使用後速やかに洗浄し、次回に使う際に薬剤が残らないように気を付ける。

薬剤防除に当たっては、使用時期や使用回数など適正使用基準を遵守し、ドリフトなどにより他の作物に飛散しないよう注意する。特に、防除機は使用後速やかに洗浄し、次回に使う際に薬剤が残らないように気を付ける。

薬剤防除に当たっては、使用時期や使用回数など適正使用基準を遵守し、ドリフトなどにより他の作物に飛散しないよう注意する。特に、防除機は使用後速やかに洗浄し、次回に使う際に薬剤が残らないように気を付ける。

薬剤防除に当たっては、使用時期や使用回数など適正使用基準を遵守し、ドリフトなどにより他の作物に飛散しないよう注意する。特に、防除機は使用後速やかに洗浄し、次回に使う際に薬剤が残らないように気を付ける。

薬剤防除に当たっては、使用時期や使用回数など適正使用基準を遵守し、ドリフトなどにより他の作物に飛散しないよう注意する。特に、防除機は使用後速やかに洗浄し、次回に使う際に薬剤が残らないように気を付ける。

薬剤防除に当たっては、使用時期や使用回数など適正使用基準を遵守し、ドリフトなどにより他の作物に飛散しないよう注意する。特に、防除機は使用後速やかに洗浄し、次回に使う際に薬剤が残らないように気を付ける。

薬剤防除に当たっては、使用時期や使用回数など適正使用基準を遵守し、ドリフトなどにより他の作物に飛散しないよう注意する。特に、防除機は使用後速やかに洗浄し、次回に使う際に薬剤が残らないように気を付ける。

薬剤防除に当たっては、使用時期や使用回数など適正使用基準を遵守し、ドリフトなどにより他の作物に飛散しないよう注意する。特に、防除機は使用後速やかに洗浄し、次回に使う際に薬剤が残らないように気を付ける。



五穀豊穰を願い手づくりしめ飾り寄贈



右から伊藤組合長、鈴木局長、振興局鳥井副局長、JA川原菅農部長

JAとJA女性部は令和6年12月、空知総合振興局や美唄市などにしめ飾りを寄贈し、令和7年の五穀豊穰を祈願した。

JAは12月17日、岩見沢市の空知総合振興局を訪問。鈴木賢一局長に、手づくりのしめ飾り「福亀」を贈った。同局へのしめ飾りの寄贈は今回で17回目となる。

伊藤正人組合長が「今年は作柄の良い年となった。来年も今年以上に良い年となるよう祈願したい」としめ飾りを手渡すと、鈴木局長も「来年もより良い年になることを願う。立派なしめ飾りを多くの来庁者に見てもらいたい」と笑顔で受け取った。

また女性部役員は12月10日、JAの伊藤組合長と美唄市の桜井恒市長を訪問し、手づくりのしめ飾り「福亀」を贈った。しめ飾りの寄贈は今回で19回目となる。

谷村清美女性部長は「しめ飾りは作り手の想いがたくさん詰まっている。多くの人に見てほしい」と伊藤組合長と桜井市長に手渡した。

JAとJA女性部が寄贈する手づくりのしめ飾り「福亀」は上美唄開拓地区の女性グループ3名が丹精して編み上げたもの。長寿を願う大きな亀と豊作の象徴でもある稲穂を下に垂らすのが特徴。




女性部役員から美唄市へ



女性部役員からJAへ

モナ・カサンドラ【プロフィール】 占いを学術的に解析する「ルネ・ヴァン・ダール研究所」の研究生となり、占星学のロジックを徹底的に解説・探求。コンピュータによるホロスコープ作成の道を開いた。現在は執筆活動を始め、さらなる占星の研究を重ねている。
ルネ・ヴァン・ダール研究所 <http://www.rene-v.com/>

うお座  全体運：上昇運。困り事は解消に向かい、味方になってくれる人が出てきます。新しいことに挑戦を。可能性が広がります
健康運：コンディションは良好。スポーツへGO!
幸運の食べ物：プロッコリー

新体制で活気のある青年部に



左から早川部長、浅井副部長、高橋副部長、太田理事、皆川理事、千葉監事、塚本監事

青年部は令和6年12月27日、JA3階大会議室で第76回通常総会を開き、新部長に早川隼兵さん（前副部長）が就任。総会には委任状を含む48名が出席した。

開会の挨拶で山角翔太郎部長は「今年には様々な活動を通じて青年部としての団結力が以前よりもさらに強くなったと感じる」と盟友に日頃の感謝を伝えた。

伊藤正人代表理事組合長は「各媒体で青年部の活躍を見るたびに勇気づけられる1年になった。今後も青年部活動に積極的に参加して人として大きく成長してほしい」とエールを送った。

総会では令和7年度事業計画など全6議案を原案通り可決。早川新部長は「新メンバーで青年部を盛り上げて楽しい活動にしたい。そのため盟友一人一人の協力をいただき、頑張っていきたい」と決意を述べた。

同部は1月1日より新体制をスタートさせる。

部長以外の新役員は次の通り

- 副部長 浅井 拓（再・中村）
高橋 健（新・茶1）
- 理事 太田智也（新・元村）
皆川大毅（新・元村）
- 監事 千葉竜也（再・茶協）
塚本健二（新・北美限）



会場を訪れた市民らで賑わいをみせた感謝祭

市民に日頃の感謝を伝える

女性部は12月13日、美幌市内の商業施設コアビバイの特設ブースで毎年恒例の「感謝祭2024」を開催。部員手づくりのしめ飾りや手芸品、スイーツなどを数量限定で販売し、訪れた市民らで会場は大いに盛り上がった。

谷村清美女性部長は「感謝祭を通じて市民の皆様は女性部活動の魅力や素晴らしさを伝えていきたい」と話した。

- 1 福祉・社会
- 3 経済・産業
- 5 ジェンダー平等 関係しよ
- 11 住みやすさ 関係しよ

施設を利用する 全ての人に

女性部は12月10日、タオル1本運動を実施し、美唄市の養護老人ホーム恵風園を訪問。未使用のタオルなどを寄贈した。

この日、同部員が寄贈した未使用タオル53枚、洗濯済みタオル23枚、バスタオル10枚、シーツ6枚などを三輪淳志園長に手渡し、受け取った三輪園長は「寄贈していただきとても有難い。大切に使用させていただきます」と感謝の言葉を述べた。



寄贈した女性部三役と受け取る三輪園長



クリスマス会の様子

- 3 子育てに 関係しよ
- 5 ジェンダー平等 関係しよ
- 10 住みやすさ 関係しよ

笑顔が絶えない クリスマス会

女性部シルバー部会は12月5日、JA3階大会議室で毎年恒例のクリスマス会を開催。部会員14名が参加し、身体や頭を使うゲームやビンゴ大会で部員間の交流を深めた。

どれだけ早く手持ちの棒をゴールまで運べるか競争したり、フライ返しで自身のチームカラーが描かれたの裏返して同じ色を増やしていくゲームなど参加者全員で楽しみ、会場には元気な笑い声が響いた。

- 5 ジェンダー平等 関係しよ
- 11 住みやすさ 関係しよ

みんなで リースづくり！

女性部フレッシュユミズ部会は12月2日、JA3階大会議室で冬季講習会を開催。部会員5名と青年部家族が参加し、華やかなリースを手作りました。

今回は女性部の福田ひろみさんが講師を務め、リースの編み方や装飾品を付ける際のポイントなどを伝授した。また、子育て世代だからこそ分かり合える悩みを打ち明け、お互いを知るきっかけにもなった。



参加者と講師の福田さん

- 5 ジェンダー平等 関係しよ
- 10 住みやすさ 関係しよ
- 11 住みやすさ 関係しよ

親子レクで 家族間交流

女性部フレッシュユミズ部会は11月23日、JA3階大会議室で交流会を開催。部会員家族のほか、青年部員の家族も参加し、楽しいひと時を過ごした。

親子で楽しめるようにヨーヨー釣りや輪投げ、綿あめなど会場に小さな縁日を再現。ほかに美唄市の人形劇団なかよしによる人形劇やしっぽとり競争などの親子レクで家族同士の親睦を深めた。



ヨーヨー釣りで遊ぶ子どもたち



美咲市立中央小学校が蕨亀づくり体験を実施。上美咲開拓ひふみ会が講師となり 5 年生の児童に丁寧に編み方を教えた。5 月に齋藤実さんの圃場で児童が収穫した稲が使用された。(11/27)



美咲市農協花き生産組合（渡邊孝則組合長）が茨城・栃木方面で視察研修を実施し、組合員 9 名が参加した。枝物を通じて農業の活性化に努めている JA 常陸奥久慈枝物部会などを視察した。(12/02～04)



美咲市が主催する「子どものいる風景フォトコンテスト」の授賞式が子育て支援センターはみんぐで行われ、伊藤正人代表理事組合長が出席。JAびばい賞を受賞した家族に新米 5 キロなどを贈呈した。(12/07)



金融課融資係が JA 3 階大会議室で農業者年金セミナーのオンライン視聴会を開催。株式会社ジーステラエンプライズの堀口浩代表取締役が講師となり、農業者年金に関する重要なポイントを説明した。(12/11)



美咲市水稲直播研究会（加藤禎行会長）が JA 3 階大会議室で令和 6 年度成績検討会を実施し、会員 16 名と賛助会員 20 名が参加。空知農業改良普及センターの普及員らが各項目ごとに情報提供をした。(12/12)



美咲農業情報システム研究会と美咲市農民協議会が JA 3 階大会議室で農業会計ソフトソリマチの講習会を開催し、会員ら 13 名が参加。基本的な操作方法などを参加者に指導した。(12/19)

▼理事会などより

定例理事会 12月13日

《報告》

- ① 令和6年11月貸付実行報告
- ② 令和6年11月末現在、業務財務報告
- ③ コンプライアンス委員会報告
- ④ 職員人事動静報告
- ⑤ 令和6年度大豆集荷状況報告並びに施設操業状況報告
- ⑥ 令和6年度決算推定報告
- ⑦ その他

⑪ 令和5年度水田活用米穀(輸出用)の最終精算について

⑫ その他

…全議案承認

臨時理事会

12月24日

《報告》

- ① 常務委員会報告
- ② 農家経済改善対策委員会報告
- ③ 決算・予算スケジュールについて
- ④ 特定組合員のクミカン収支見込報告
- ⑤ 令和6年度経営所得安定対策交付状況報告
- ⑥ 令和5年度国内産小麦流通円滑化特別対策事業交付金支払報告
- ⑦ 令和6年度花き・野菜共計品目の最終精算報告
- ⑧ その他

…全議案承認

《その他報告事項》

- ① 令和7年度営農計画審査日程報告
- ② その他

- ⑧ 大口貸出先且つ特定組合員を含む団体に對する資金の貸付について
- ⑨ 令和5年度主食用米の追加精算について
- ⑩ 令和5年度水田活用米穀(加工用)の追加精算について

- ① 令和7年度内部監査計画について
- ② 第12次農協中期経営計画部門別重点方針「重点方針・重点施策・実施方策」について
- ③ 令和5年度普通小麦の最終精算について



農協職員

資格認定試験合格者

中級

- 向 千鶴 (共済推進課)
- 佐藤 和貴 (共済推進課)
- 松井あずさ (農業資材課)
- 石本 珠里 (金融課)

上級

- 岡 広祥 (農産園芸課)
- 古賀 智史 (農業資材課)

退職者

販売部農産園芸課

千田 英治 職員

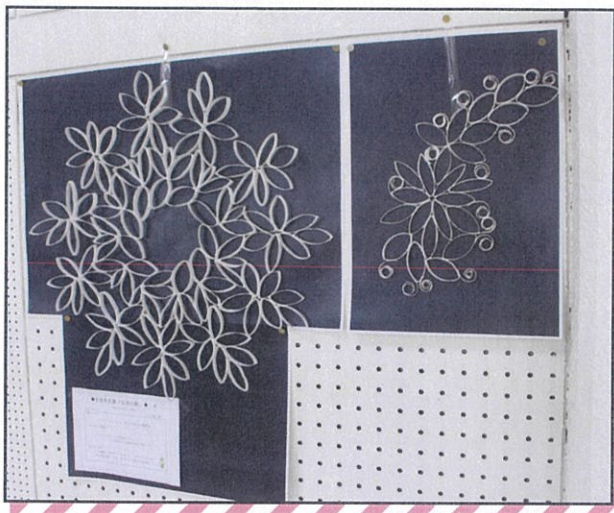
令和4年3月22日入組
令和7年1月31日退職

販売部米麦課

継田 智美 職員

昭和58年3月18日入組
令和7年1月31日退職
引き続き嘱託職員として同課で勤務

令和5年度女性部生活作品展の作品をご紹介します



トイレットペーパーの
芯で作った壁飾り
広域グループ 黒田 優子

お気に入り賞
受賞



さくらほりきりに行きました
茶志内3グループ 板東 知子

女性部員手づくりの素敵な作品をごらんください

12月号で紹介した「足乗せ台」も
お気に入り賞に選ばれています！！

こよみ・行事

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

- 11日 ○建国記念の日
○信用事業リスク管理強化委員会
- 13日 ○企画会議 ○常務委員会
- 14日 ○定例理事会
○コンプライアンス委員会
- 15日 ○臨時企画会議
- 17日 ○常務委員会
○期末監査2 (みのり監査法人)
～21日迄
- 19日 ○臨時理事会
- 23日 ○天皇誕生日
- 24日 ○振替休日
- 26日 ○決算監査 (監事監査)
～3月4日迄

シニア定期貯金のご紹介！

【お取扱期間】

令和7年2月1日～令和8年1月31日

【ご利用いただける方】

J Aびばいで年金をお受け取りいただいている方

【お預入限度額】 **1,000万円まで**

【お預入期間】 **1年**

【適用金利】

● 100万円まで店頭金利+0.3%上乗せ

● 100万円超～1,000万円まで店頭金利+0.15%上乗せ

お預入れは
おトクで安心な
JAバンクへ



お問い合わせはコチラ

JAびばい 金融課 貯金係 TEL 63-2162

■葬儀に関するご連絡・お問い合わせについて

葬儀に関するご連絡等につきましては、必要事項を記入したFAXを左記の連絡先へ送付して頂きますようお願い申し上げます。

必要事項

- ①亡くなられた方の名前・年齢
- ②死去日
- ③農事組合名
- ④葬儀の日時・場所
- ⑤喪主
- ⑥葬儀委員長

平日の場合
TEL(63)2161
FAX(63)4600

土曜・日曜・祝日の場合
TEL(66)1161
FAX(66)1162

Aコープ
コア店

▶ JAの概況
<12月末>

○皆さんの貯金	25,192,372千円
○皆さんへの貸出金	5,196,564千円
○皆さんの出資金	709,740千円
○組合員数	(正) 731人 (准) 3,399人 (計) 4,130人

編集後記

世間で特撮は若手俳優の登竜門と言われていますが、本当にその通りだと思えます。今では超有名な俳優のデビュー作が特撮作品なんてこともよくあります。

現在放送中の「爆上戦隊ブンブンジャー」を見ていたら2014〜15年に放送されていた「烈車戦隊トッキュウジャー」がゲストで出演していました。レッドを演じていたのは志尊淳さんだったので本人ではなく、ヒーローのみの出演かなあと思っただけで見ました。敵を倒したレツドが後輩たちに一言を告げて退場すると思いきや変身を解除……。あれ？中身はテレビや映画で大忙しの俳優さん。頭がパニック状態。カメラが引きになった瞬間、放送当時とよく似た衣装を着た志尊さんの姿が……！

エンディングまで放心状態でしたが、我に返りSNSを確認すると同志の皆様も大盛り上がりでした。現行の作品に過去のキャラクターが登場するのはファンにとっては激熱展開ですが、オリジナルキャストをサプライズで登場させる制作陣は流石としか言えません。ますます好きになってしまいました……。

お得なキャンペーンのご案内

金融課からのお知らせ

JAとのお取引状況により金利を引き下げ
令和7年1月6日(月)～5月30日(金)

JAマイカーローン

キャンペーン基準金利
変動金利 年 **3.40%** (通常 年4.30%)
固定金利 年 **4.10%** (通常 年5.55%)

最大引き下げ 年1.0%

保証料 0.70%込
最軽減金利 年 **2.40%**
最軽減金利 年 **3.10%**

お借入額に応じたポイント還元!
プレゼント進呈中!

自動車購入以外にもお使い道いろいろ!
修理車検代・免許取得費など!ご相談ください!!

JA住宅ローン

令和7年1月6日(月)～5月30日(金)

3段階金利キャンペーン

キャンペーン金利適用条件
●組合員加入 ●JAカード(一体型)申込
●インターネットバンキング契約またはJAバンクアプリプラス

3段階の金利設定段階型 全期間固定金利プラン

※金利は令和7年1月6日現在のものです。
※表記金利に別途保証料がかかります。

11年目以降ず〜っと変動のリスクがありません

1～3年目 年 **0.6%**
4～10年目 年 **1.5%**
11年目以降 年 **2.1%**

- ★最終返済まで安心な固定金利で金利変更時の手続きが必要ありません!
- ★返済総額もわかるので将来設計が立てやすい!!
- 一般団体信用生命共済の掛け金はJA負担です!
- ※金利を上乗せすることで三大疾病保障・9大疾病補償等の保障を追加できます。

HPはコチラ
<https://www.ja-bibai.or.jp>

お問い合わせはコチラ
JAびばい 金融課 融資係 TEL 63-2163